

2025年大阪・関西万博を契機に オール和歌山でアクションプランに取り組みます！

来月13日の2025年大阪・関西万博開幕に向け、このたび、関西パビリオン和歌山ゾーンや期間中の催事イベントをはじめ、万博を契機とした全庁的な取組を「和歌山県版アクションプラン（最終版）」として取りまとめましたのでお知らせします。

万博の経済効果を県内に最大限波及させるため、県民参加と全庁をあげたオール和歌山の体制で、アクションプランの実施に取り組んでまいります。

【主な取組のポイント】

1. 和歌山が誇る世界遺産をはじめ豊富な観光資源や県内の地場産業の魅力を国内外に発信することで、観光誘客やビジネス機会の創出につなげます。
2. 県内各地で活躍されている地域の方々に、主体的に万博に関わっていただく県民参加型プログラムで、県民の皆さんと一体となって創り上げます。
3. 次世代を担う子ども達に、世界の最先端技術や地球規模の課題などに直接触れて体験してもらうとともに、地域と学生が連携して地域課題の解決に取り組みます。

《関西パビリオン和歌山ゾーン》



◇参考

- 1) 和歌山県万博特設サイト

<https://www.wakayama-kanko.or.jp/expo2025/>

- 2) 和歌山県版万博パンフレット

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/060400/d00217872.html>



担当者	万博推進課 庄司・古川・光成
連絡先	073-441-2703

2025年大阪・関西万博
和歌山県アクションプラン
(最終版)

2025年3月
知事室 万博推進課

2025年 大阪・関西万博の概要

名 称：2025年日本国際博覧会（略称：大阪・関西万博）

テ ー マ：いのち輝く未来社会のデザイン

コ ン セ プ ト：未来社会の実験場

会 場：夢洲（ゆめしま/大阪市臨海部）

開催期間：2025年4月13日(日)～10月13日(月・祝)（184日間）

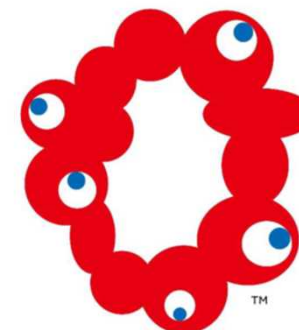
想定来場者数：約2,820万人

〈内訳〉国内（近畿圏）：約 1,560万人

国内（近畿圏外）：約 910万人

海外：約 350万人

参 加 国 数：158ヶ国・9国際機関（2025年2月現在）



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO
2025



大阪・関西万博
公式ウェブサイト

< 万博会場イメージ図 >



（提供：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会）

< 大屋根リング（内側） >



（提供：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会）

〈目 次〉

1. アクションプランの概要	P 3
2. 出展スケジュール	P 4～P 5
3. 関西パビリオン 和歌山ゾーン	P 6～P15
4. 催事イベント、県民参加		
(1) 多目的エリア、共創チャレンジ	P 16～ P 17
(2) 和歌山W E E K、和歌山D A Y	P 18～ P 19
(3) こどもの万博参加、県民参加イベント	P 20～ P 21
(4) 先端技術への働きかけ	P 22
5. 万博を契機とした全庁的な取組		
(1) 誘客への取組	P 23
(2) 万博に関する取組や魅力を発信	P 24
(3) 文化芸術の魅力発信	P 25
(4) 国際交流の取組	P 26
(5) ビジネスチャンスの創出	P 27
(6) 農業遺産・棚田地域の魅力発信	P 28
(7) 県産食材の魅力発信	P 29
参考：和歌山県万博特設ホームページ	P 30

1. アクションプランの概要

2025年大阪・関西万博を通じて和歌山県が目指すもの

大阪・関西万博の開催を契機とし、和歌山県の魅力を国内外に発信することにより、本県の認知度向上を図るとともに、観光誘客の促進やビジネス機会の創出などに取り組む。

【観光振興】

和歌山ゾーン

和歌山の精神文化から育まれた多様な魅力を発信

- 「和歌山百景」として
- 上質な空間を表現
- トーテムによる映像表現
- 和歌山の食の提供

和歌山DAY

和歌山の魅力をステージパフォーマンスで発信

- 歴史と先端技術の融合
- 県ゆかりのアーティストによるパフォーマンス

【産業振興】

和歌山WEEK

世界で通用する技術力を持つオンリーワン中小企業等の発信

- 人・モノを呼び込むゲートウェイの役割

先端技術への働きかけ

万博で披露される先端技術の県内誘致に向けた取組

- 空飛ぶクルマの県内での実用化
- 先端技術や成長分野への働きかけ

【地域振興】

地域資源の魅力創出

振興局が中心となって地域の魅力を創造し、万博を通じて発信

- 学生や企業とのマッチングによる地域資源の開発

こどもの万博参加

未来を担う小・中学生が、未来社会の革新的な技術やサービスを体験する場として万博参加機会を提供

- 県内学校の校外学習としての参加を促進

県庁全体で取組を促進

■ 期待される効果

大阪・関西万博の和歌山県の観光消費による経済効果（和歌山県試算）







観光消費における経済波及効果額

約330億円

和歌山県への訪問者数

約189万人（国内外含む宿泊・日帰り客）

2. 出展スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
和歌山ゾーン (関西パビリオン)	 4/13(日)~10/13(月) 万博開催期間中184日間						
多目的エリア (関西パビリオン)		 5/6(火)~5/18(日)				 9/10(水)~9/15(月)	
共創チャレンジ (TEAM EXPO パビリオン)		 5/3(土)~5/5(月)					
和歌山WEEK (EXPOメッセ)		 4/30(水)~5/3(土)					
和歌山DAY (EXPOホール、 EXPOアリーナ)							 10/3(金)

2. 出展スケジュール〈会場MAP〉

和歌山DAY
会場：EXPO アリーナ「Matsuri」

共創チャレンジ
会場：TEAM EXPOパビリオン

和歌山ゾーン・多目的エリア
会場：関西パビリオン内

和歌山WEEK
会場：EXPO メッセ「WASSE」

和歌山DAY
会場：EXPOホール「シャインハット」

大阪・関西万博 全景図

大阪・関西万博 公式パンフレット

「提供：2025年日本国際博覧会協会」
※画像はイメージのため、実際の会場とは配置・建物形状が一部異なる場合がございます。
また、本画像の無断転載・複製は一切お断りします。

5

3. 関西パビリオンの概要

名 称：関西パビリオン

テ ー マ：いのち輝く関西悠久の歴史と現在

出展主体：関西広域連合※

参加府県：滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、
鳥取県、徳島県、福井県、三重県

基本構成：①関西全体を表現する展示エリア
②出展参加府県による独自展示エリア
③関西・WEBパビリオン

開館時間：午前9時15分－午後9時

位 置：東ゲートゾーン北側

※構成団体：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、
鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市
(連携団体：福井県、三重県)



関西広域連合HP
関西ウェブパビリオン



関西パビリオン外観



中央サークル



エントランス通路

3. 関西パビリオン 和歌山ゾーン 〈概要①〉

関西広域連合が設ける「関西パビリオン」内に「和歌山ゾーン」を設置し、和歌山の精神文化から育まれた多様な魅力を表現

テーマ：和歌山百景 — 霊性の大地 —

コンセプト：“上質”のつまった和歌山

出展意義：和歌山が育んできた精神文化（寛容の精神）は、多様な価値観を尊重し合う「持続可能な世界」を実現する日本のモデルとなり得ると考え、これを展示によって表現

展示構成：空間・映像・食 3つのコンテンツにより構成

集客目標：30万人



和歌山ゾーン Creative Director



空間 Space

吉本英樹

Hideki
Yoshimoto



映像 Movie

Yusuke
Murakami



食 Food

加藤峰子

Mineko
Kato

3. 関西パビリオン 和歌山ゾーン 〈概要②〉



映像コンテンツ



ステージコンテンツ



フードコンテンツ



3. 関西パビリオン 和歌山ゾーン 〈空間①〉

◆吉本 英樹 氏（和歌山ゾーン構築総合ディレクター）によるプロデュース

紀伊山地の巨木を彷彿とさせる映像装置「トーテム」は、紀州塗りで仕上げられ、食の体験を供するカウンターバーと椅子にも紀州材を使用。そのほか空間を構成する様々な要素に、紀州桐箆笥・高野口パイル・高野組子細工等の伝統工芸や素材を活用し、世界に誇る和歌山の魅力を空間に凝縮。

◇映像タワートーテム【紀州塗りに】

映像機器の筐体は紀州漆器の技術である「紀州塗り」によって仕上げている。



◇中央の展示什器【紀州高野組子】

細かく割った木材を手作業で幾何学模様を組み上げる装飾技法である「紀州高野組子細工」をあしらって制作。



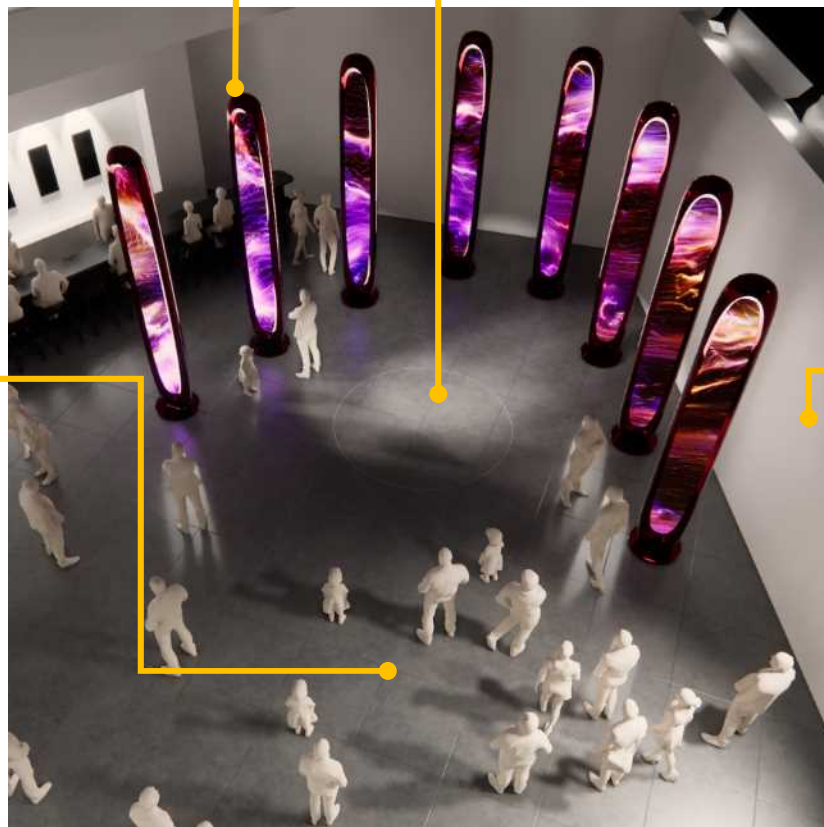
◇ソファ【高野口パイル】

高野山麓の伝統生地「高野口パイル」を活用して製作。



◇壁面アート【和歌山を表す版画】

県内在住の版画作家により、和歌山の山と海をあらわした新たな版画作品をデータ化、壁面を飾る。



3. 関西パビリオン 和歌山ゾーン 〈空間②〉



◇カウンター天板・椅子【紀州材】

- ・長さ9メートルの大きな天板は「紀州材」を活用しており、「焼杉」の手法を活用して仕上げている。
- ・カウンターと一体となる椅子も「紀州材」を活用して、吉本英樹氏のデザインにより製作。



◇カウンター壁面の押し花アート【県内のこども達】

県内のこどもたちと採取して制作した押し花を活用して、和歌山県出身のフラワーアーティストである柘早苗氏による押し花アート作品を制作。



◇スイーツ等を提供する器【紀州桐箆笥】

「紀州桐箆笥」の精緻な技術を生かし、プリミティブな森を感じさせるアーティスティックな器を製作。

◇スタッフユニホーム【和歌山ニット・高野口パイル】

- ・伝統ある高品質なニット製品として知られる「和歌山ニット」を活用したオリジナルユニホーム、高野口パイルを活用したバッグを製作。



3. 関西パビリオン 和歌山ゾーン 〈映像〉

◆映像クリエイター Yusuke Murakami 氏によるプロデュース

「寛容の精神」をもって、宗教や身分、考え方の違いに関わらず、全てを受け入れ、融合・共存してきた和歌山を熊野詣にならい、「未来」-「過去」-「現在」-「未来・よみがえり」を巡ることで、和歌山や世界や自分を見つめなおす「よみがえりの旅」をビジュアル体験。

※多様な価値観を尊重しあう「持続可能な世界」を実現する日本的モデルとして、世界に発信



MAIN MOVIE 「混ざる・結ぶ」 約25分

01 : FUTURE「未来」 オープニング

期待感、始まり感、霊性感を演出。光のゆらめきや鼓動や色など、何かが生まれるような世界を表現

02 : PAST「過去」 曼荼羅・縁起絵巻の世界

この章では、和歌山の自然や歴史をひもとき、火山やジオから始まり、過去の歴史（曼荼羅・縁起絵巻など）をめぐる

例) 曼荼羅・縁起絵巻、和歌の聖地、安珍と清姫の物語、南方マンダラなど

03 : PRESENT「現在」 和歌山百景 ～霊性の大地～

「日本人の旅のはじまり」の地と言われている現在の和歌山の姿を、本県を代表する景勝地や祭りなどの実写映像で紹介

例) 和歌山城、高野山、有田みかん、熊野三山、南紀熊野ジオパークなど

04 : FUTURE/RESURRECTION「未来・よみがえり」

様々なエレメントが混じりあう幻想的なエンディングにより、「よみがえり」「寛容の精神」を演出し、それぞれのトーテムが様々な宗教やジェンダーやナショナルリティーなどを表現

3. 関西パビリオン 和歌山ゾーン 〈食〉

◆食クリエイター 加藤 峰子 氏によるプロデュース

和歌山ゾーン内の「食」のエリアでは、県内の老舗和菓子等の職人や果物農家とコラボレーションした6種のスイーツ等とドリンクを提供。また、スイーツ等を収める器は、桐箆笥の技術を使った特別な器をご用意。また、和歌山とゆかりのあるシェフとのコラボレーションによる期間限定メニューも提供予定。

Wakayamaの森と恵みのペアリングセット



1. 営業形態

運営日	営業時間 (基本)	席数	事前予約	価格 (税込)
常時 (特別企画実施日を除く)	12:30~ 20:00	9席	必要(※)	6,000円

※7日前予約または前日、当日予約も対応予定

2. メニュー

品目	協力店舗名
スイーツ等	四季の味 ちひろ (和歌山市)
	角濱ごまとうふ総本舗 (高野町)
	郷土銘菓処 ふく田 (御坊市)
	うすかわ饅頭 儀平 (串本町)
	京菓子 福田屋菓子店 (新宮市)
ドリンク	観音山フルーツパーラー (紀の川市)

特別企画：お酒の日 (和歌山県酒造組合連合会とGI和歌山梅酒管理委員会と協力)

1. 営業形態 (特別企画)

運営日	営業時間	席数	事前予約	価格 (税込)
毎月第3金曜日、土曜日の2回/月	15:00~20:00	9席	不要	1,000円

2. メニュー

日本酒及びGI梅酒の飲み比べ (月毎に取扱うメニューを変更)

3. 関西パビリオン 和歌山ゾーン 〈ステージ①〉

◆和歌山ゾーンのステージコンテンツ

和歌山ゾーンの中心に位置するステージを活用し、トーテムの映像と一体的に、様々なコンテンツを展開する。テーマウィークとレギュラーウィークを設け、県内各地の祭りや伝統芸能、工芸品等を未来へ繋いでいくべく、空間を活用して彩り豊かに、和歌山の魅力を発信する。

カテゴリ		概要	実施日程
テーマウィーク	オープニングウィーク	万博の開幕を飾る特別コンテンツ 各地域の祭りを集中的に展開し華やかな雰囲気演出。	4/13(日) -19(土)
	コマーシャルウィーク	公募で選定した和歌山ゆかりの方による地域の魅力を表現。	5/3(土)-5/18(日) 9/11(木)-22(月)
	世界遺産ウィーク	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録記念日を中心に、熊野と高野山にちなんだ、書家、能楽師を招き、日本文化とともに深い精神性を伝える。	7/6(日)-19(土)
	クロージングウィーク	万博の閉幕にふさわしく、和歌山の根底に流れる利他の心を巨大な折り紙で表現したマンダラ～神仏習合のフィナーレにより次代へのメッセージを繋ぐ。	9/30(火)-13(月祝)
レギュラーウィーク		スピリチュアル/ルーツ/インクルーシブを軸に、和歌山の精神性を表現する上質で多様なコンテンツを展開。 テーマウィーク開催期間以外で実施。	テーマウィークを除く期間 ※原則週替わり 4/20(日)-5/2(金) 5/19(月)-7/5(土) 7/20(日)-9/10(水) 9/23(火)-9/29(月)

3. 関西パビリオン 和歌山ゾーン 〈ステージ②〉

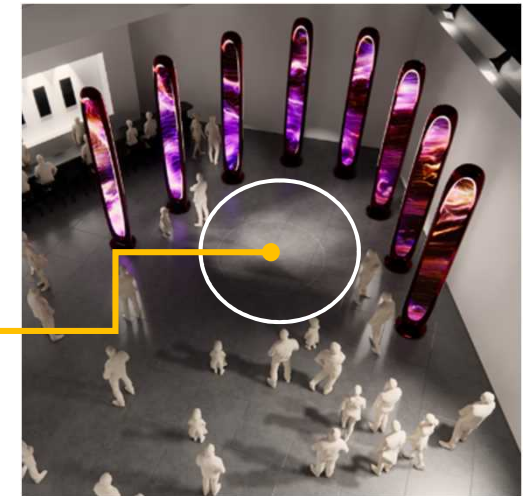
ステージ例

オープニングウィーク

- 期間：開幕 4月13日（日）～4月19日（土）
- コンテンツ：和歌祭
祭渡御（祭衣装・面）
- 内容：和歌祭の始まりは、江戸時代の元和8年(1622)、毎年5月に行われる紀州東照宮の大祭。
この和歌祭から、祭を彩る衣装、面をはじめ、重さ1トンにもなる大神輿を会場に展示する。



和歌祭で実際に使用する「大神輿」



和歌山ゾーン中央ステージ

コマーシャルウィーク（前半）

- 期間：開幕 5月3日（土）～5月18日（日）
- 内容：県内各地から公募で選定した和歌山ゆかりの方が、展示、パフォーマンスなど、ほぼ日替わりで魅力を発信。



海南市発祥の「みかん・お菓子」



有田川町特産の「ぶどう山椒」

3. 関西パビリオン 和歌山ゾーン 〈ステージ③〉

【吉本英樹氏（和歌山ゾーン構築総合ディレクター）：選定】

<p>【オープニングウィーク】 4月13日-4月19日</p> <ul style="list-style-type: none"> 和歌祭 祭渡御（祭衣装・面） <p>【世界遺産ウィーク】 7月6日-7月19日</p> <ul style="list-style-type: none"> 書（柏木白光）kumano / koya 能楽（鈴木啓吾） <p>【クロージングウィーク】 9月30日-10月13日</p> <ul style="list-style-type: none"> まんだらプロジェクト 華道高野山&高野山声明 熊野古道絵巻 	<p>【レギュラーウィーク】</p> <p>4月</p> <p>13日～ 【オープニングウィーク】</p> <p>20日～ THE ROOTS ー醤油ー</p> <p>27日～ 共通巡礼（熊野古道とサンティアゴ・デ・コンポステーラ）</p> <p>5月</p> <p>3日～ 【コマーシャルウィーク】</p> <p>19日～ 御燈祭(おとうまつり)</p> <p>26日～ 合気道と植芝盛平翁</p> <p>6月</p> <p>2日～ 華道高野山&高野山声明</p> <p>9日～ 黒竹（田辺竹雲斎）</p> <p>15日～ 那智の扇祭り</p> <p>22日～ 熊野観心十界曼荼羅（絵説き）</p> <p>29日～ 奥熊野太鼓</p>	<p>7月</p> <p>6日～ 【世界遺産ウィーク】</p> <p>20日～ "ROSE"～丹生都比売神社 舞楽曼荼羅供から～</p> <p>27日～ 紀州備長炭</p> <p>8月</p> <p>3日～ 紀州てまり</p> <p>10日～ 中上健次とアート（屏風）</p> <p>17日～ 紀州へら竿</p> <p>24日～ お身代わり仏像</p> <p>9月</p> <p>4日～ エルトゥールル号・トルコとの交流の原点</p> <p>11日～ 【コマーシャルウィーク】</p> <p>23日～ 南方熊楠</p> <p>30日～ 【クロージングウィーク】</p>
--	--	--

【コマーシャルウィーク：公募】

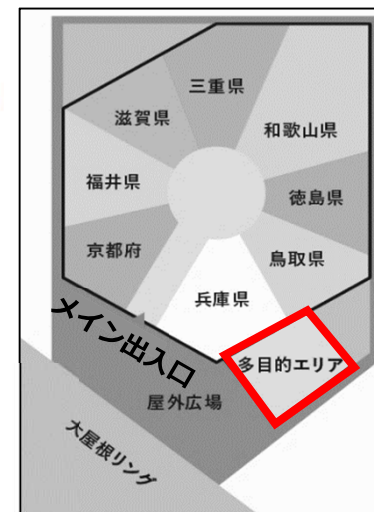
<p>5月3日 スタジオぼこ・あ・ぼこ</p> <p>4日 中西富一工房</p> <p>5日 (一社)海南市観光協会</p> <p>6日 「ARTと悟り」実行委員会</p> <p>7日 新宮市</p> <p>8日 県立箕島高等学校</p> <p>9日 ALL ARIDA協議会2025</p> <p>10日 有田・下津地域世界農業遺産推進協議会</p> <p>11日 「熊野古道」を世界遺産に登録するプロジェクト準備会</p> <p>12日 紀南エリアサイクルツーリズム協議会</p> <p>13日 有田川町</p> <p>14日 キクロン(株)</p>	<p>5月15日～海南海草地方広域観光協議会</p> <p>17日 紀の川市観光協会</p> <p>18日 紀の川エリア観光サイクリング推進協議会</p> <p>9月11日 (株)山本勝之助商店</p> <p>12日 (株)ヴィンテオ</p> <p>13日 KIYORA和歌山 大阪関西万博実行委員会</p> <p>14日 紀州へら竿和人</p> <p>15日～高野町西細川地域おこし協力隊</p> <p>17日 榊葉雅楽会</p> <p>18日～日高川町</p> <p>20日～アドベンチャーワールド</p>
---	--

4. 催事イベント、県民参加〈多目的エリア〉

概要 地域振興局と市町村が連携して地域の魅力を発信

日程：2025年5月6日（火）～5月18日（日）
9月10日（水）～9月15日（月）

場所：関西パビリオン 多目的エリア



内容 地域の歴史文化を伝えるステージや、地域産業の体験・販売等を実施。

前半



▲和歌祭(和歌山市エリア)



▲梅酒試飲(田辺市エリア)

後半



▲筏下り(東牟婁エリア)



▲紙漉き体験(伊都エリア)

出展日程	振興局等	出展コンセプト
5/6（火）～5/7（水）	和歌山市	伝統的な祭をはじめ、和歌山市の魅力を世界に発信
5/9（金）～5/10（土）	有田振興局	ARIDA EXPO — 万博を契機とした有田への誘客促進とみかん文化の継承
5/11（日）～5/12（月）	西牟婁振興局	五感で感じる ～わかやま南紀エリア～
5/13（火）～5/14（水）	田辺市	W世界遺産と梅酒の旅を世界に発信 Kanpai! with umeshu(plum wine)
5/15（木）～5/16（金）	海草振興局	「産業」と「食」の力で海南・紀美野を世界に発信！
5/17（土）～5/18（日）	那賀振興局	バーチャル体験でKINOKAWAフルーツウェルビーイング（5/17 紀の川市） IWADE CITY FESTIVAL ～食べて飲んで感じて～（5/18 岩出市）
9/10（水）～9/11（木）	東牟婁振興局	～熊野の「自然」を体験する～
9/12（金）～9/13（土）	日高振興局	「和食の源流は日高にあり」を世界に発信
9/14（日）～9/15（月）	伊都振興局	伝統工芸・和の文化を実体験

目指す姿

✓地域コンテンツの担い手のSDGsの関心醸成、地域資源の創出等による誘客促進。

4. 催事イベント、県民参加〈共創チャレンジ〉

概要 地域振興局と大学生等が連携した地域課題解決に向けた取組

日程：2025年5月3日（土）～5月5日（月）

※大阪・関西万博「テーマウィーク」のテーマのうち、「未来への文化共創ウィーク（伝統芸能、地域活性化、観光、文化芸術など）」の期間中（4月25日（金）～5月6日（火））にあわせて参加。

場所：万博会場Team Expoパビリオン

内容 高等教育共創コンソーシアム和歌山に所属する学生と県の各振興局が連携して7つの共創にチャレンジし、地域の魅力創出や地域課題解決に向け取り組んだ内容を発信

出展日程	振興局	出展テーマ
5月3日（土）	西牟婁振興局	熊野古道 大辺路への誘客促進
	東牟婁振興局	移住者受入れ先進地における持続可能な地域づくり
5月4日（日）	海草振興局	国道370号の利用促進
	那賀振興局	紀の川エリアサイクリングによる誘客・周遊促進
5月5日（月）	伊都振興局	高野山麓地域の周遊観光促進
	有田振興局	有田川町清水地域への誘客促進
	日高振興局	「和食の源流は日高にあり」を世界に発信

※ 2000年7月、和歌山県内の大学等高等教育機関が、連携・協力することによってその知的資源を結集し、地域社会のより一層の発展に貢献することや加盟機関のさらなる魅力の発揮を目指して設立。
参考：高等教育共創コンソーシアム和歌山HP <http://www.consortium-wakayama.jp/>

■参考：これまでの取組
5月19日（日）キックオフ会議
・高等教育共創コンソーシアム和歌山※の学生約50名が公募等により参加



7チームがそれぞれが地域活動を実施



11月4日（月）中間報告会
・全チームが集まり地域活動等を報告

11月27日（水）
TEAM EXPO 2025 MEETING（大阪）
・全チームが登録して、万博参加に向けてプレゼンテーションを実施

12月20日（金）
Team Expoパビリオン参加内定通知

目指す姿 ✓ 地域振興局と学生が連携して地域の魅力創出や地域課題解決に取り組む仕組みづくり。17

4. 催事イベント、県民参加〈和歌山WEEK〉

概要 和歌山の地場産業等の歴史や技術を世界に発信

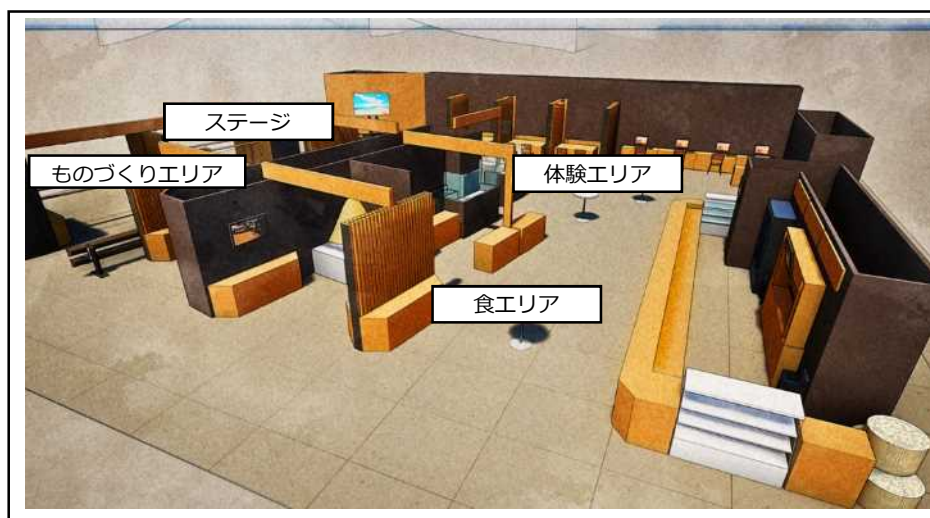
開催日：2025年4月30日（水）～5月3日（土）
場 所：EXPO メッセ「WASSE」



EXPO メッセ「WASSE」 (提供：2025年日本国際博覧会協会)

内容 世界で通用する技術力やSDGsに資する取組を有する県内の中小企業者等によるブース出展やステージでの企業PRを企画

催事ロゴ



【出展者（11団体）一覧】

■食

- ① GI和歌山梅酒管理委員会、和歌山県酒造組合連合会
- ② 和歌山県食品産業協議会（紀州味噌工業協同組合、和歌山県醤油工業協同組合、和歌山県漬物組合連合会等）
- ③ 有田・下津地域世界農業遺産推進協議会、みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会、下津蔵出しみかんシステム日本農業遺産推進協議会、有田みかん地域農業遺産推進協議会、和歌山県棚田等保全連絡協議会、高野山・有田川流域世界農業遺産推進協議会
- ④ ALL ARIDA 協議会 2025
- ⑤ 田辺市・梅酒ツーリズム事業実行委員会

■ものづくり

- ⑥ 和歌山商工会議所
- ⑦ 和歌山ニット
- ⑧ 海南商工会議所
- ⑨ 紀州繊維工業組合、紀北染色協同組合

■その他

- ⑩ ユタカ交通株式会社
- ⑪ (株)クスベ産業、(株)関西ガード、(株)榎本林業

目指す姿

✓企業の成長促進及び販路開拓、SDGsに対する関心度の向上。

4. 催事イベント、県民参加〈和歌山DAY〉

概要

和歌山の歴史文化等の魅力を世界へ発信するステージ

開催日：2025年10月3日（金）

場 所：EXPO ホール「シャインハット」

（ただし、EXPO アリーナ「Matsuri」でのプログラムは別途調整中）



EXPO ホール「シャインハット」
（提供：2025年日本国際博覧会協会）

内容

ステージプログラム進行（案）

1. オープニング

- ・県内高校生による箏曲披露

2. 「Sustainability（持続可能性）」

～次世代を担うこどもたちによる文化芸術の発信～

- ・ミュージカル（りら創造芸術高等学校ほか）

3. 「Spirituality（精神性）」

～心身鍛錬と寛容の精神を発信～

- ・和歌山発祥の武道「合気道」演舞
- ・熊野三山による祭事

4. 「Serenity（静謐さや静けさ）」

～声明・映像・光の共演による平和への祈り～

- ・高野山1200年の光×合唱

5. クロージング

- ・カーテンコール、フィナーレ

会場内にある多目的室での文化発信（案）

- ・県内高校生による美術・写真・書道等の作品展示
- ・来場者が楽しめる文化体験

ステージイメージ



ミュージカル



演舞・祭事



合唱

「巨大スクリーン映像」×「光のパフォーマンス」をあわせて
ダイナミックかつ没入感のある体験を提供

文化発信イメージ



目指す姿

✓国内外へ和歌山の多様な魅力を発信することにより、人や投資を呼び込む。

4. 催事イベント、県民参加〈こどもの万博参加〉

概要

万博教育旅行参加支援 県内学校の校外学習先を万博へ！

大阪・関西万博は「課題解決型万博」
地球規模の課題に対して世界中の英知が集結する場

次世代を担う子どもたちが
“世界の最先端技術や価値観などに直接触れて体験”



内容

教育旅行支援の運営事務局を設置、教育旅行への支援事業を実施。

(事務局URL：<https://j-lppf.jp/wakayama-supporters/>)

対象：県内の小・中・義務教育学校並びに特別支援学校（小・中学部）等の
教育機関の教育旅行

支援：万博入場チケット費用、
バス費用の一部（自己負担1人当たり約3,000円を予定）



≪県内半数以上の学校が万博参加を決定≫

県内小・中学校の参加予定（2025年2月末時点）
学校参加率：56.1%（205/365）

～寄附のお願い～

本取組に賛同する県内外の方
や企業に広く支援をお願い。



県万博推進課HP
(詳細情報)

目指す姿

- ✓ 将来直面する課題に対する子ども達の関心度の向上。
- ✓ 国際意識の向上によるグローバル人材の育成。

4. 催事イベント、県民参加〈県民参加等〉

概要 多くの県民に万博に関心を持ってもらい、万博会場からも海外スタッフ等を誘致

これまで「2025年国際博覧会和歌山推進協議会」では、機運醸成のイベントの開催やメールマガジンでの情報発信等で県内の万博機運を醸成

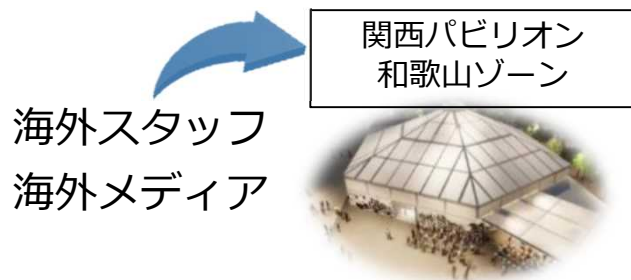


メールマガジン
わかやま万博通信

内容

- 和歌山県内から万博への参加促進
 - ・県万博特設ホームページ「和歌山百景」や県万博公式Instagram等を通じて、万博会場での県民参加情報を発信
 - ・市町村等と協力して、和歌山県内で開催される各種イベントの機会を活用して、万博ブースの出展や万博と絡めたキャンペーン等を実施
- 万博会場スタッフ等の誘客や交流の促進
 - ・海外スタッフを主なターゲットとして和歌山県訪問旅行商品を造成
 - ・万博会場に設置されるメディアセンターを活用して、会場内のメディアに和歌山県の観光、産業、食等の魅力を発信

万博会場で本県とのマッチング促進



▶ マッチング後の本県への受入



万博推進課
特設HP「和歌山百景」

万博推進課
Instagram

万博推進課
note

目指す姿

✓万博会場と和歌山県のリアルな交流を通じて「万博レガシー」を未来に繋ぐ。

4. 催事イベント、県民参加〈先端技術への働きかけ〉

概要 万博で披露される先端技術の県内誘致に向けた取組

内容 ●万博を契機に、空飛ぶクルマ（※eVTOL）の県内での実用化

※eVTOL（Electronic Vertical Take-Off and Landing aircraft）

垂直に離着陸し、ヘリコプターやドローン、小型飛行機の特徴を併せ持つ電動の機体

- ・空飛ぶクルマへの社会受容性の醸成に向けた情報発信
- ・空飛ぶクルマの飛行に必要な離着陸場の設置などの体制・環境整備

《令和7年年度重点施策》

空飛ぶクルマの実用化に向けた支援（1,000万円）

空飛ぶクルマの離着陸場の整備に向けた調査の実施を支援
（海外や首都圏からの更なる観光客の誘致）

【空飛ぶクルマを本県に導入する強み】

1. 県内の魅力的な観光地
2. 海岸線の長さを活かした海上ルートの設定



■参考：これまでの主な動き

和歌山県、株式会社IHI、株式会社長大及び南海電気鉄道株式会社の「空飛ぶクルマ」の和歌山県内での実用化に向けた連携協定締結（2024年2月5日）



県内初の「空飛ぶクルマ」実証飛行
（2024年9月21日：串本町潮岬望楼の芝）



●その他、先端技術(AI・ロボット・デジタル等)や成長分野への働きかけ

目指す姿 ✓次世代に向けた産業の創出および産業振興。

5. 万博を契機とした全庁的な取組〈誘客への取組〉

誘客への取組

概要

万博を契機とした本県への誘客プロモーションと周遊企画の実施

内容

■ 国内外からの誘客に向けたプロモーションの実施

- 公共交通機関とのタイアップ
 - ・J R西日本グループと連携し、西日本エリアを中心としたプラスワントリップに向けたプロモーションの展開
- 県公式観光サイトやSNS等を通じた情報発信
- 万博を組み合わせた旅行商品造成に向けた提案
 - ・首都圏を中心とした旅行会社への商品造成の働きかけ等

■ 万博会場での情報発信

- ・会場来訪者に向けて、本県の歴史や文化など多彩な魅力をステージパフォーマンスにより発信することで和歌山を売り込む
- ・多目的エリアへの出展による各振興局と市町村が連携した地域の魅力の発信
- ・万博会場を起点としたモバイルスタンプラリーのP R
- ・京都から熊野三山に至る世界遺産社寺を中心とした「熊野御幸御朱印めぐり」をP R

目指す姿

✓本県の認知度を高め、旅行の目的地に選ばれることを目指す。

知らないオドロキが色々々々
聖地リゾート!!!!!!
和歌山



5. 万博を契機とした全庁的な取組〈万博の魅力等を発信〉

万博に関する取組や魅力を発信

Instagram
和歌山県広報課&きいちゃん
(外部リンク)



概要 オール和歌山で万博の機運醸成に取り組む。

- 内容**
- ・ **広報誌「県民の友」**に最新トピックス『**万博通信**』を掲載
 - ・ 県公式Instagram等の**SNS活用**による**万博イベント情報等を発信**
※和歌山県PRキャラクター「きいちゃん」参加イベントに大阪・関西万博の公式キャラクター「ミyakumiyaku」を呼んで一緒に万博を啓発
 - ・ **テレビ・ラジオの広報番組**を活用した**万博出演予定者の取組等の発信**

県民の友『万博通信』

○県民の友に、万博に関する和歌山県の取組を中心として、目玉となる動きを最新トピックスとして紙面で毎月発信。



令和6年7月号【こどもの万博参加】
押し花ワークショップ参加者募集！！

SNS活用による情報発信

○Instagram（県広報課と「きいちゃん」のアカウント）を活用して、万博啓発を行ったイベント参加情報等を発信。



万博1年前告知
(R6.4.13)



県障害者スポーツ大会
開会式 (R6.5.19)

テレビ等活用による情報発信

○広報番組「きのくに21」等を活用して万博情報を発信。

※事例：吉本興業の前会長で大阪・関西万博催事検討会議共同座長を務める大崎洋さんをゲストに迎え、知事と万博について対談。



テレビ和歌山
令和6年6月16日
『知事と語る』

目指す姿 ✓万博開催に多くの県民が関心を持ち、ともに学ぶ機会となることを目指す。

5. 万博を契機とした全庁的な取組〈県の文化芸術の魅力発信〉

県の文化芸術の魅力発信

概要 万博を契機に、和歌山が誇る文化芸術の魅力を発信

- 内容**
- ・関西パビリオン和歌山ゾーンや和歌山WEEK、和歌山DAY等に県内の各種文化団体が出演や出展を行い、和歌山の文化芸術の魅力を発信。
 - ・県立近代美術館で万博に関連した企画展を実施するほか、県立博物館では、関西パビリオン和歌山ゾーンで行うステージコンテンツと連動した文化財等を展示し、それを県万博SNS等で情報発信することで和歌山への誘客を促進

りら創造芸術高等学校



紀州高野組子細工



お身代わり仏像（左：実物 右：複製）



目指す姿

✓和歌山ゾーン等で和歌山の魅力に触れた来場者が和歌山のファンとなり、県内文化遺産や文化施設等を訪れることを目指す。

5. 万博を契機とした全庁的な取組 〈国際交流の取組〉

国際交流の取組

概要 万博を契機とした国際交流によるグローバル人材の育成

内容 ・和歌山県内の各地域と関係性のある国・地域から、要人や青少年が来日する機会をとらえ、文化・学術等の分野で交流を深める。

例) スペイン・ガリシア州との青少年交流

熊野古道・熊野三山の視察や学校交流等を実施するとともに、万博の和歌山ゾーンやスペインパビリオンを表敬訪問し、文化や歴史について相互理解を深め、次世代人材の育成を図る。

例) 清華大学・高野山サミット（仮称）

万博を機に来日した学術関係者や学生が高野山に集い、仏教など両地域の共通のテーマに基づいた交流を行い、双方の歴史や文化を実際に体験するプログラムを実施。



目指す姿

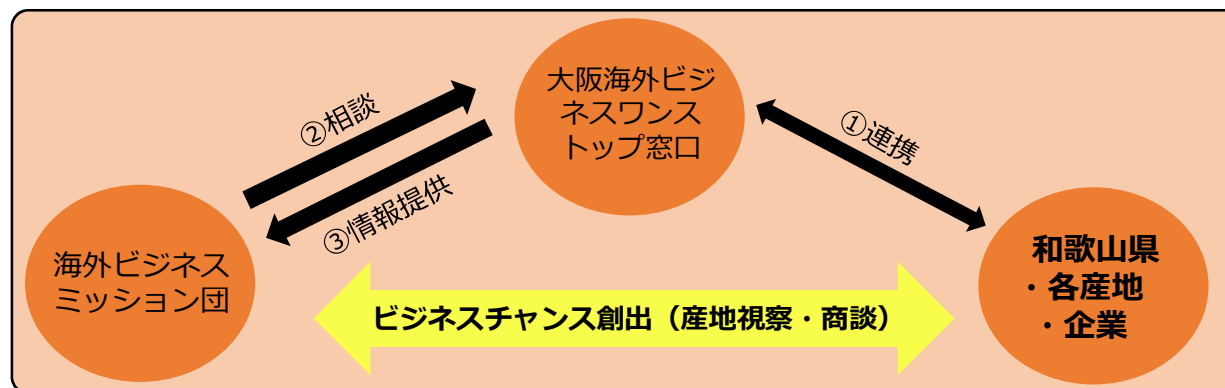
✓海外との交流を通して、お互いの歴史・文化などについて相互理解を深め、グローバル社会で活躍できる次世代の人材を育成する。

5. 万博を契機とした全庁的な取組〈ビジネスチャンスの創出〉

ビジネスチャンスの創出

概要 万博を契機とした海外との新たなビジネスチャンスの創出

- 内容**
- ・ JETRO、中小機構、関経連等で構成される「大阪海外ビジネスワンストップ窓口」と連携し、万博の各国ナショナルデーに合わせて関西を訪れるビジネスミッション団を本県へ誘致し、県内産業の魅力、強み、技術力を世界に向けて発信することにより、海外との新たなビジネスチャンスを創出する。
 - ・ 当該ミッション団の受入れに向け、次の取組に係る準備を整える
 - ① 工芸品、製造業などの各産業分野に応じた産地視察及び企業視察の実施により県内企業の製品と技術力をPRする。
 - ② ネットワーキング会の開催により、ビジネスミッション団と県内企業が直接交流できる場を創設し、商談及び情報交換を促進する。



目指す姿 ✓ 新たなビジネスチャンスを創出、県内企業の製品と技術力の世界展開が進む。

5. 万博を契機とした全庁的な取組〈農業遺産等の魅力を発信〉

農業遺産・棚田地域の魅力を発信

概要 万博を契機として農業遺産認定地域等の魅力を発信

内容 和歌山ゾーンステージへの出展、催事「和歌山WEEK」等に参加して魅力を発信

- ・ 伝統的で独自性のある農林業への認知度向上【動画、ジオラマ展示】
- ・ 認定地域等で生産された農産物や加工品の付加価値向上【物産PR】
- ・ つなぐ棚田遺産認定地域等の保全活動紹介【パネル展示、物産PR】



有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム
(海南市・有田市・広川町・湯浅町・有田川町)



守るべき農村景観 棚田百選「あらぎ島」
(有田川町)



ワーケーション等多様な主体の参画
(みなべ町)

目指す姿

✓ 県内の農業遺産システムや棚田等を有する農村地域の振興を図る。

- ・ 10周年を迎える世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」地域の農業と地域の活性化
- ・ FAO申請中「有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム」の認知度向上
- ・ 農業遺産や棚田遺産等を継承するための多様な主体参画や関係人口の増加



5. 万博を契機とした全庁的な取組〈県産食材の魅力を発信〉

県産食材の魅力を発信



概要 万博を契機とした県産食材の魅力発信と販路拡大に取り組む。

- 内容**
- ・万博会場における関係団体と連携した県産食材の魅力発信と販路拡大
 - ・わかやまポンチ等の登録店舗紹介等による県産食材の魅力を地域から発信
 - ・有名百貨店とのタイアップによるブランド力の向上やマーケット拡大強化
 - ・JAや生産者と連携したフェア参加等を通じた外食産業への利用推進

万博会場での魅力発信

○和歌山県食品産業協議会をはじめとする各団体と連携のもと「和歌山WEEK」などへの出展により、和歌山が誇る食の歴史や文化も含めた魅力を世界に発信。



有名百貨店とタイアップ

○在阪百貨店での青果物プロモーション販売に合わせ、京阪神エリアの高級外食店で県産食材を用いたフェアを開催。



外食産業への食材提案

○外食関係者、有名シェフの招へいによる食材の魅力発信。有名ホテル、レストラン等で和歌山フェアの開催や食材の提案。



DRAWING HOUSE
OF HIBIYA



KIHACHI

目指す姿

✓県産食材の認知度が高まり、世界中に販売ルートが広がり商品展開がされる。

参考：和歌山県万博特設ホームページ

和歌山百景



URL : <https://www.wakayama-kanko.or.jp/expo2025/>

■ホームページコンテンツ

Concept	和歌山百景ー靈性の大地ーについて
NEWS	県の取組や催事情報に関するニュース
Contents	和歌山ゾーンを構成する「空間」「映像」「食」について
Wakayama in Expo	和歌山ゾーン以外の万博での取組について

メイキングムービー

県の準備風景を映像化した「万博メイキングムービー」を発信中。



✓ タイトル	✓ 公開日	✓ 内容
# 1 上質な和歌山を	R6.9.25	: 吉本氏から、ハード整備の様子と思いを紹介
# 2 受け継がれる営み	R6.10.31	: 吉本氏から、県民参加の準備風景を紹介
# 3 こどもたちの“素敵”	R6.11.12	: 柘氏から、こども押し花ワークショップを紹介
# 4 「混ざる」と「結ぶ」	R6.12.18	: 村上氏から、トータル映像展示準備の様子を紹介
# 5 和菓子文化をもう一度	R7.1.14	: 加藤氏から、飲食エリアのレシピ準備の様子を紹介
# 6 地域を共に創る	R7.2.10	: 学生から、共創チャレンジ（地域×学生）の様子を紹介
# 7 DAY & WEEK	R7.2.27	: 課員から、万博期間中の催事イベントの準備風景を紹介
# 8 和歌山から万博を盛り上げよう	R7.3月中旬	: 課員から、行ってきた機運醸成イベントの様子を紹介
# 9 和歌山百景	万博開幕直前	: 吉本氏から、準備すべての様子について、直前のコメント